

3・25 五割動員を実現しよう 動労千葉の真価が問われる

日刊 動労千葉

84. 3. 12

No. 1587

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

すべての組合員のみなさん。

3・25三里塚現地全国総決起集会まで、あと十二日です。

いま全支部で五割動員実現にむけた、猛然たる決起がくりだされています。

3・25は、動労千葉結成以来、動労「本部」革マルとの熾烈な組織争闘戦、81・3ジェットストライキをはじめ、幾多の試練をのりこえて勝利的に闘いぬいてきた地平のうえに、動労千葉の労働運動が八〇年代に通用するのかわかをかけた、文字通り真価が問われる闘いです。

動労千葉の3・25五割動員の方針は、全国の労働者に驚きと共感をもって迎えられています。と同時に、権力・国鉄当局、動労「本部」革マル、脱落派にすさまじい打撃を与えています。

われわれが、3・25の勝利をちとることができれば、中曽根の軍事大国化・改憲、侵略戦争のための三里塚二期―国鉄労働運動解体攻撃と対決し、これを打ち破る労働者人民の壮大な決起を実現することが可能なのです。

いざ、3・25三里塚へ巨万の人民の結集を実現し、軍事大国化攻撃の突破口―二期着工を阻止し、脱落派もろとも反動中曽根を打倒しよう。

動労千葉の先頭に、国鉄労働者一千名の結集をちとり、国鉄労働運動解体攻撃粉碎―動労「本部」革マルを一掃しよう。

奮闘する十二支部

青年部は7割を目標

木更津支部

小さい支部ながら強い団結力を誇る木更津支部は、五割動員にむけた取り組みも大きく前進しています。

青年部は、二月二十九日に集会を開催して意志統一し、実に青年部七割動員を目標に取り組むことを決定しました。

支部は、三月六日に執行委員会を開催し、全役員の年休参加をはじめ、全組合員個別オルグ、三月十六日の検修集をもつてなんとしても五割動員を実現することを決定し、奮闘しています。

今日現在、50名の動員を確定。目標70名にむけ、さらに奮闘中

津田沼支部

動労千葉の拠点と自負する津田沼支部は、二月二十七日の執行委員会で五割動員、七十名目標を確認し、三月五日から支部役員が一日中はりついで全員オルグ行動に突入しました。

そして、三月九日の拡大執行委員会は、二四名が参加して開かれ、すでに五〇名の参加をもちとったことが報告されました。

さらに、三月十五・十六日の二日間職場集会を開催し、3・25へ全力で決起するなかから、動乗勤改悪阻止、84春闘に勝利



し「本部」派を解体一掃していくことを確認し、ばく進していきます。〔3/9 津田沼支部拡大執行会〕